

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-7 災害に強い県土づくり

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 斐伊川神戸川対策課長 横川 裕 電話番号 0852-22-5937

事務事業の名称	斐伊川放水路事業促進事業	
目的	(1) 対象	斐伊川放水路建設に伴い、移転等のため生活環境に支障が生じることとなった周辺住民の方々
	(2) 意図	斐伊川放水路建設に伴い、移転等のため生活環境に支障が生じることとなった周辺住民の方々の生活環境を改善するため、道路、集会所、上下水道設備などそれまで未整備であった生活基盤施設の整備を行うもの。併せて、放水路建設を着実に進めていくため、周辺住民の方々の理解を頂くため行う周辺対策事業の側面を持つ。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>出雲市が行う周辺地域の整備（道路、河川、農林土地基盤、集会所・上下水道などの生活環境施設等）について、整備の進捗を早めるため、出雲市の実質負担額の2分の1を補助等する財政支援を行っている。</li> <li>斐伊川放水路事業で発生した残土処理場（グリーンステップ）について、跡地利用が決まるまで草刈などの管理を行う必要がある。そのため、県土地開発公社へ管理委託を行っている。</li> </ul>	

## 2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	斐伊川放水路関連周辺地域整備事業及び園の長浜地域整備事業の全体計画に対する進捗割合	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	斐伊川放水路関連周辺地域整備事業及び園の長浜地域整備事業に要した経費/地域整備事業の全体計画	目標値		87.40	89.60	92.90
			実績値	86.60	90.10	91.10	91.90		
			達成率		103.10	101.70	99.00		%
指標名	式・定義		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			%
			実績値	0.00	0.00	0.00			%
			達成率		0.00	0.00			%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	801,331	559,336
うち一般財源(千円)	99,848	220,570

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・斐伊川放水路は2年前の平成25年6月に完成。  
 ・しかし、出雲市が行う「放水路関連周辺地域整備事業等」については、道路用地の確保等に手間取り、事業完了が遅れている。現在工期の見直しを行い、完了予定を平成32年度に設定し、事業を継続して行っている。  
 ・H24～26にかけての実績値が伸び悩んでいるのは、用地確保が難しい工区ほど、事業が長期化する傾向にあるため。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

・斐伊川放水路事業で発生した残土処理場（グリーンステップ）については、A・B谷上部平地部分を、地元企業による太陽光発電施設用地として利用することが決定したため、該当部分の管理事業費予算化が不要となった。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 出雲市が行う「園の長浜地域整備事業」については、用地交渉が難航しており、今年度末の事業完了予定が極めて厳しい状況。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 出雲市によると、用地交渉になかなか応じていただけないなど、難航な状況が続いているとのこと。
- ③原因を解消するための「課題」
- 粘り強く交渉を継続し、理解を得ることが最も大事なことだが、それがかなわない場合は、ルート変更等事業計画の見直しを行う必要がある。そのため、出雲市とは継続的かつ緊密な連絡調整を行っていくことが必要である。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・斐伊川放水路は、地元住民や地元自治体の理解で完成したことから、周辺整備事業については計画通りに完了できるよう、引き続き出雲市や県の関係部局と協議を進める  
 ・グリーンステップ（C谷）については、現在、県事業の公共事業発生残土処理地としてH32年までは利用するが、その後の利活用について、早期に決定するように、地元関係自治体からも要請されている。そのために、県のHPでPRを行うなど利活用についての対策が必要となる。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）